

内径旋削用工具

BOREMEISTER ボア・マイスター

Tungaloy Report No. 517S4-J

L/D = 9 対応の PSC 防振アダプタ & 防振バー用スリーブ拡充

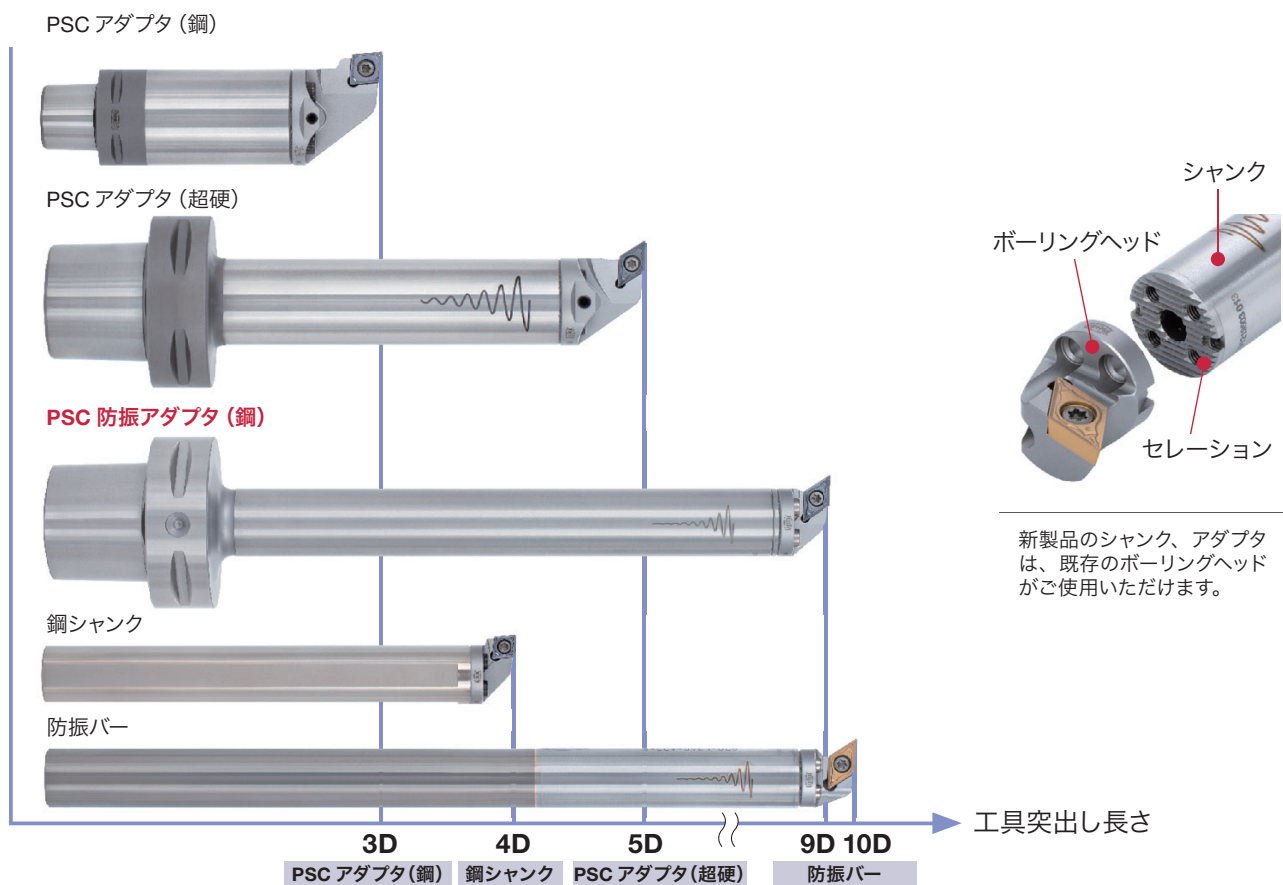




製品情報はこちらから

ラインナップ強化により 多様な内径加工に対応可能

L/D = 9 対応の PSC 防振アダプタを拡充
幅広いラインナップで様々な内径加工に対応可能



新製品のシャンク、アダプタは、既存のボーリングヘッドがご使用いただけます。

■ L/D = 5 と L/D = 9 の加工比較

工具	PSC 防振アダプタ (鋼) L/D = 9 防振機能付き 突出し長さ = 222 mm	PSC アダプタ (超硬) L/D = 5 防振機能なし 突出し長さ = 115 mm
切削速度 $V_c = 150 \text{ m/min}$ 送り $f = 0.1 \text{ mm/rev}$ 切込み $ap = 1.5 \text{ mm}$	良好	良好
切削速度 $V_c = 150 \text{ m/min}$ 送り $f = 0.1 \text{ mm/rev}$ 切込み $ap = 0.5 \text{ mm}$	良好	良好

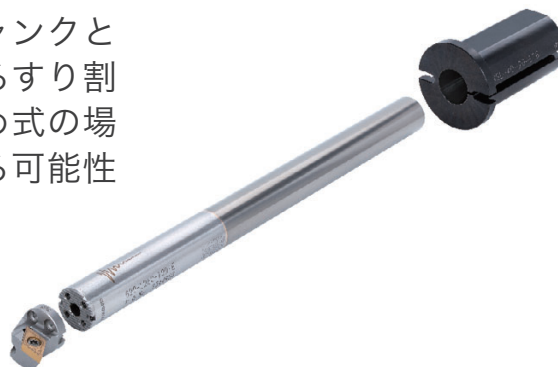
ヘッド : S25-SCLCR09-H
 インサート : CCMT09T304-PS AH725
 シャンクサイズ : $\phi 25 \text{ mm}$
 被削材 : S45C
 加工径 : $\phi 30 \text{ mm}$
 使用機械 : NC 旋盤

Boremesier L/D = 9 PSC防振アダプタは、通常のL/D = 5アダプタと同様の性能を発揮し、優れた加工面品位および精度を実現

防振効果を高める専用スリーブを設定

Boremeister の防振機構を最大限引き出すためには、防振バーのクランプ方法が重要です。

円筒形のボーリングバーを取り付ける際は、シャンクとスリーブの接触面積および把握力を最大化できるすり割りスリーブの使用を推奨します。従来のねじ止め式の場合、工具に損傷を与え、防振抑制効果が低減する可能性があります。



クランプ方式

すり割りスリーブを用いたねじ止め式



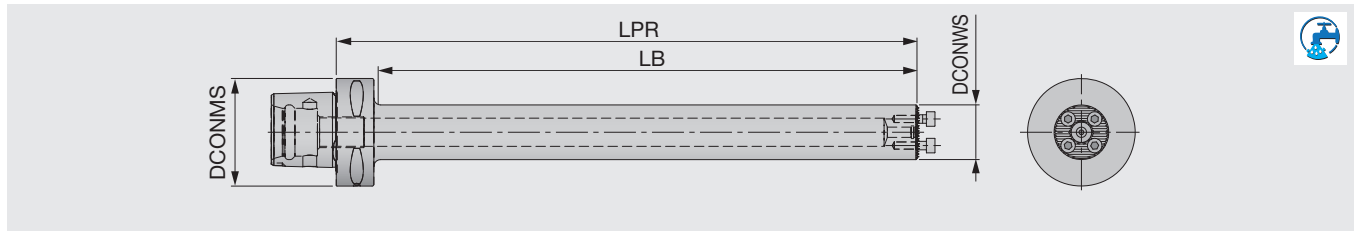
すり割り式クランピングユニット



特殊品については、タンガロイまでお問い合わせください。

C6-9D-C

防振機構付き PSC アダプタ L/D = 9



形番	シャंक材	DCONWS	DCONMS	LPR	LB	WT (kg)
C6-D25-L230-9D-C	鋼	25	63	230.5	200.1	1.65
C6-D32-L288-9D-C	鋼	32	63	288.5	259.5	2.73
C6-D40-L368-9D-C	鋼	40	63	368.5	339	4.45

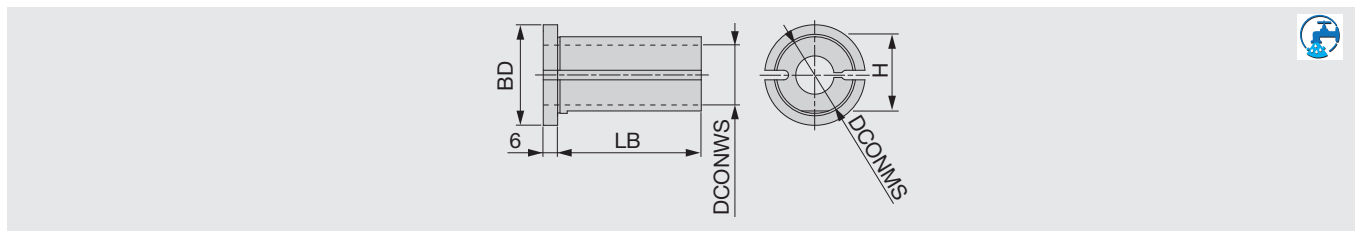
部品



形番	締付けねじ	スパナ
C6-D25...	SRM3.5X10DIN912	HW3.0
C6-D32...	SRM5X12DIN912	HW4.0
C6-D40...	SRM6X16DIN912-12.9	HW5.0

RSL スリーブ

防振バー用すり割りスリーブ



形番	DCONWS	DCONMS	BD	LB	H
RSL-32-16-L66	16	32	42	60	31
RSL-32-20-L66	20	32	42	60	31
RSL-32-25-L66	25	32	42	60	31
RSL-40-16-L76	16	40	50	70	38.5
RSL-40-20-L76	20	40	50	70	38.5
RSL-40-25-L76	25	40	50	70	38.5



www.tungaloy.co.jp

タンガロイ公式アカウント

facebook.com/tungaloyjapan

twitter.com/tungaloyjapan

製品動画はこちら



www.youtube.com/tungaloycorporation

製品のお問い合わせは



ダウンロード
Dr.Carbide App



Available on the
App Store



GET IT ON
Google play



友だち追加は
こちらから。

または @tungaloy_official で ID 検索をしてください。

FIND US ON THE CLOUD!
machingcloud.com



AS9100 認証取得
登録番号 78006
登録日 2015.11.04
ISO 14001 認証取得
登録番号 EC97J1123
登録日 1997.11.26

資源保護のため再生紙を使用しています。

Nov. 2021 (TJ)